

ドリーム・トークショー
(3人組で役を交代)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り・発表] 3人組 (司会・ゲスト・おうえん) メモづくり15分 + 本番20分×2時間
ねらい	中学校で入りたい部活・したいこと・なりたいものを3文で伝え、司会の質問に答える (単元ゴール)。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Three roles: Host, Guest, and Fan!
3人組で役を決める。司会 (質問する人) ・ゲスト (語る人) ・おうえん (相づちと最後のひとこと)
- 2 Host: What club do you want to join?
司会は下の質問カードから2つ選んで聞く
- 3 Guest: I want to join I want to be
ゲストはトークメモを見ながら3文まで答える
- 4 Fan: Wow! Nice! ... Good luck!
おうえんは相づちを返し、最後に Good luck! でしめる
- 5 Change roles!
役を交代して3周。全員が3つの役をやる

トークメモ ゲストのときに見てよい (3文+ひとこと)

入りたい部活 I want to join the	_____
中学校でしたいこと I want to	_____
なりたいもの I want to be a	_____
まだ決まっていない人は I want to try / I don't know yet, but I like	_____

司会の質問カード この中から2つ選んで聞く

What club do you want to join? What do you want to do at junior high school?

What do you want to be? Why?

ことばバンク (したいこと) : study English hard read many books make many friends

enjoy the school festival play sports try a new club

ルール

(子どもへ) ①ゲストは3文まで——たくさん言った人が勝ちではない ②司会は必ず2つ質問する ③おうえんは最後に Good luck! を言う ④「まだ決まっていない」は立派な答え。つっこまない

☆レベルアップ! メモを見ないで話せたら「ドリーム・スピーカー」。司会が Why? を足せて、ゲストが1語でも理由を返せたら、そのペアはもう中1の会話。

先生へ (運用のコツ・中間指導)

- ・メモづくり (第5時) と本番 (第6・7時) は日を分ける。1時間に詰めると必ず崩壊する
- ・◎第5時の見取り (知技) はトークメモの3文。join the ~ club、be a ~ の形が書けているかだけを見る
- ・中間指導は「Why? に答えられた子」か「Good luck! を心をこめて言えた子」を1人だけ全体へ。紹介の質が一段変わる
- ・3人組が作れない学級は4人 (おうえん2人) でよい。役が余るより、聞き手が多いほうがゲストは話しやすい

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目で言えなかったことを、同じ20分のうちに「言えた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝トークショー①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	トークショー1回目（1～2周目）	先生は「Why? のあとで止まったゲスト」を見つけておく
7-9	あつめる：言いたかったのに言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。司会・ゲスト・おうえんの3役それぞれから
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の台詞にもどす	さっき言えなかった子が、となりに向かって1回言えたら準備完了
13-20	トークショー2回目（残りの周）	「補給したことばを1つ使えたら名司会」。全員が3役やり切ったら大成功

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
いっしょだ！わたしもその部活！	Me, too!	同じ夢はうれしい——あいづちで伝える
どうして？（司会の追加質問）	Why?	行きたい国の単元から使ってきた質問の王様
（Why? と聞かれたら）	I like music.	好きの文をゆっくりもう一度＝それが理由（because はまだ使わない）
まだ決まっていない	Hmm... I don't know.	「こまったときのえいご」ポスターのことば——正直も英語の力
いいゆめだね！	Nice dream!	Nice ~! はほめことばの型
がんばって！のもう一言	You can do it!	can の単元（5年）のことばが応援になる
次の人どうぞ（司会）	OK! Next, please.	司会の進行も英語でいける
もう一回言って	One more time, please.	聞き返しは道具

表にないことばが出たら
「保育士」「ユーチューバー」など職業のことばが出たら、教科書の巻末やことばバンクをいっしょに見る。なければ無理に英語にしない——「その夢のことば、中学校の英語で最初に調べようね」が卒業単元の返し方。

先生へ（この20分の勘どころ）

- ・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。第7時のトークショー②も、この台本と同じ進行で回せる
- ・夢は変わっていい・決まっていなくていい——I don't know. を堂々と言えた子をほめる（卒業単元の空気づくり）
- ・補給は応援と司会に寄せた——ゲストの3文はトークメモにある。番組になるかは Why? と You can do it! で決まる
- ・はやい組には記録役（「言えなかった」を1つ選んで発表）と拍手係。先生役は頼まない